

検討テーマ：「子どもの健全育成と高齢者が安心できる地域づくりについて」

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●市長の発言)

	課題	方策
子どもの見守り・スクールガード	<p>○あいさつのない子がいる。</p> <p>○子どもに挨拶すると不審者扱いされる。毎日のように不審者の情報があるため、子どもに警戒心が生じている。</p> <p>○市でスクールガードの講習会を行ってほしい。子どもの安全を守るのと同時にドライバーへの対応も知りたい。</p> <p>○スクールガード同士で集まる情報交換の場を設けてほしい。</p> <p>○定期的な通学路の安全確保、点検（歩道に伸びた枝や草など）</p> <p>■保護者からは、「犯罪者が多いこの時世に闇雲に挨拶をかえす指導は出来ない」、「何かあったとき、誰が責任を取るのか」という意見が多数出た。</p>	<p>○挨拶に関して、学校の指導だけではなく、家庭での教育が大切。PTAを通して挨拶しやすい環境を作っていきたい。</p> <p>○挨拶がきずなの根源。挨拶しあうと町が元気になる。防犯にもつながる。</p> <p>○スクールガードは、坂小学校を除く、全小学校に配置されている。所管は、学校教育課で、平成16年度から続けられている。</p>
3世代交流	<p>○ゲートボール場では、子どもが遊ぶと怒られる。子どもとの接点がない。一緒に行うような考え方が大事。</p> <p>○昨年の運動会で、高齢者と子どもの接点ということで大玉転がしを行った。高齢者はどこまで運動できるかに幅がある。</p> <p>○スポーツを3世代でやるような取組はないか。</p>	<p>○高齢者と子どもの交流があれば、老人も元気になり、子どもも優しくなると思う</p> <p>○子供会と老人クラブとの交流の機会を設ける。</p>
高齢者の見守り	<p>○老人クラブに入っていない人が心配。</p> <p>○民生委員は去年から要援護者を見回っていて、各町内会にもお願いしている。</p> <p>○協力して見守る体制づくりが必要。</p> <p>○消防団は火災に特化している。災害弱者を助けにいけない。組織には限界がある。</p> <p>■要援護者リストを見ると孤独死が非常に増えている。高齢者だけでなく病気の方も多。日常的な見守りがこれからの検討課題。</p>	<p>○毎年、町内会長に高齢者への笛、祝い金が来るので、最初は必ず民生委員と回ることを徹底する。</p> <p>○高齢者が怪我や寝込んでいる時などにはゴミ出しを行う。なるべくカーテンを開けておいてもらうなど、組では日ごろから様子を見るよう心がけている。</p> <p>○顔見知りになっておくと見守りやすい。日ごろの挨拶が大事。</p>

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●市長の発言)

	当面の取組み・課題	取組みの担い手 / アイデア
子どもの見守り・スクールガード	<p>■小学生のころから挨拶に慣れて自然に挨拶できる事が目標。</p> <p>■名前は覚えなくても、防犯パトロールの人だとか町内会長だとわかるよう、ユニフォームや格好をまず認知してもらおう。</p> <p>■服装や色など、認識しやすいイメージづけも大切。</p> <p>■子どもの見守りに関しては、子どもは挨拶だけでなく、プラスおしゃべりで心を開いてくれる。</p>	<p>■県教育委員会では名前を登録した人にバッジを配布し、バッジをつけた人には子どもから率先して挨拶するよう保護者・学校から指導するという運動がある。スクールガード定例会で提案したい。</p> <p>■朝夕散歩する人にスクールガードのベストを配布し、使用してもらったらどうか。市で予算をつけて欲しい。腕章だけでもあると良い。</p> <p>■不審者に関して、子供の下校時間にあわせ学校からフェアキャストで連絡がくる。周囲の親も気を付けるのではないか。スクールガードにも情報がいく仕組みになっている。</p> <p>■子どもも大人も顔がわからないと挨拶できないと思う。年一回、役員の役割がわかるもの（顔写真付き）を作成し、配布すれば挨拶しやすくなるのではないか。</p> <p>●小学校で町内別に集まる機会を作り、役員の顔を覚えてもらう機会があるといい。</p>

(○：前回までの意見、■：今回出た意見、●市長の発言)

	当面の取組み・課題	取組みの担い手 / アイデア
3世代交流	<ul style="list-style-type: none"> ■挨拶プラスおしゃべりで、子ども達と信頼関係が築ける。 ■シニアクラブでは年に何回か交流はあるが、普段はほとんどない。子ども達と出来るだけ密度の濃い交流をしていきたい。 ■昔は地区で毎月一回交流会があったが、現在では回覧版を渡す時の声かけもない。顔を合わせる機会を、隣組から作る事が大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ■運動会では例年通り大玉転がし、綱引きで子どもとお年寄りの交流を実施。今年は提案を受け、消防団と地域のスポーツ少年団との競技も実施した。高齢者と小学生をターゲットとしたグラウンドゴルフ大会を来週行う。体育振興会では交流の場を提供している。 ■色々なところに顔を出して、保健委員の活動を広めていきたい。 ●保険委員と体育振興会と連携を取ってほしい。体育振興会の行事に保健委員が来て三島体操を覚えてもらう等をする、保健委員の活動も浸透するのではないか。 ■現在、徳倉小祭りは平日に実施。徳倉小祭りを土日に、地域の交流行事として開催してはどうか。午前中は学校の祭り、午後は地域の祭りにして、お年寄りとの交流をはかる等。孫がいなくても学校に行く機会になると思う。
高齢者の見守り	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的に要支援者にどう手をさしのべるのか、課題を持ちながら訓練に取り組んでいきたい。 ■ほとんどのお年寄りは訪問しても、セールスだと思って出てくれない。誰が来たかわかる方法があれば一番いい。警戒している人も多い。 ■ウォーキングなどの有酸素運動は認知症にも効果がある。町内会で積極的にお年寄りを表に出す工夫をして欲しい。 ●要介護者の台帳を作ったが、現在、町内会で有効な活動をしているのは少数。これから台帳を活用する仕組みを検討してほしい。芙蓉台、大社町、緑町などが参考になる。 ■防災訓練に地域の中高・大学生も参加し、実際に高齢者の救助を体験してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢者は見守りが負担になる場合も有りえるので、民生委員に全て任せている。何かあれば連携して取り組む。 ■敬老のお祝い金を渡す時、民生委員も同行させてもらいたい。 ■毎朝、旗を表に出し、夜しまってもらうなど、隣近所に元気だと知らせる仕組みがあるといい。